

1 センターサイディング標準施工法

1-1 標準施工法の目的

設計施工資料集(本書)に基づくセンターサイディング標準施工法には、次の目的があります。

- ①センターサイディングの性能を末永く維持させる
- ②外壁に求められる機能を発揮させる
- ③住宅性能表示などによる諸性能の達成
- ④品質保証の必要条件
- ⑤注意事項・禁止事項の周知



※センターサイディング標準施工法は、建築関連法規に適合する建築物の外壁にセンターサイディングを施工する場合に適用されますが、特定の住宅会社様や工事店様などと別途定めた施工仕様(施工マニュアルなど)につきましては、ここに定める限りではありません。

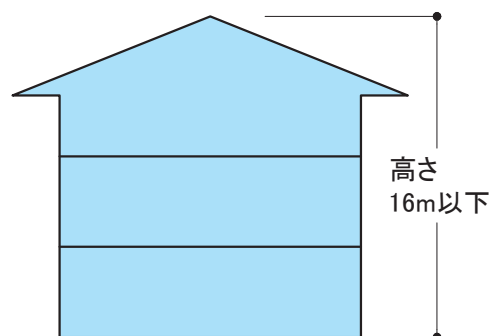
※国土交通大臣認定の防耐火構造とする場合は、各認定書別添の内容もご確認ください。

※最新の建築基準法、建築基準法施行令、告示をご確認ください。

1-2 センターサイディングの使用範囲

センターサイディングの外壁としての使用可能範囲は、原則として高さ16m以下です。

ただし、センターサイディングの耐風圧性能についてはP6～8で安全性をご確認ください。



1-3 標準施工法の条件

センターサイディング標準施工法は次の条件を遵守してください。

- センターサイディングを木造に施工する場合は、胴縁を使用する外壁通気構法で施工します。
- センターサイディングならびに防水紙・防水テープによる二重防水構造とします。
- P9～11に定める設計施工上の主な禁止事項を遵守してください。
- 各部基本納まり例については、P39～90を参照してください。
- センターサイディング標準施工法は、原則としてニチハ純正付属部材を使用してください。